

新潟市立坂井輪中学校改築 基本構想

令和7年2月

新潟市教育委員会施設課

目次

1	坂井輪中学校全面改築の経緯	2
2	施設の概要	
	(1) 坂井輪中学校（[参考]坂井輪地区公民館）	3
	(2) 建築に関わる諸条件	10
	(3) 敷地の写真	12
3	基本構想検討会	
	(1) 検討会の経緯	19
	(2) 主な意見	20
4	施設構想	
	(1) 基本理念	23
	(2) 基本コンセプト	23
	(3) 基本方針	
	<学校>	24
	<地域>	25
	<防災>	25
5	基本構想検討会委員名簿	26

1 坂井輪中学校全面改築の経緯

坂井輪中学校は昭和 22 年坂井輪村立坂井輪中学校として新通小学校及び小針小学校内に併設して創立。昭和 23 年小針小学校内に分校を設置。昭和 24 年新築校舎建設により現在地に移転。昭和 29 年新潟市への編入合併に伴い新潟市立坂井輪中学校と改称。その後生徒数の増加に伴い昭和 47 年小針中学校、昭和 52 年五十嵐中学校、昭和 57 年小新中学校と分離し、現在の学区となりました。

このような歴史のある坂井輪中学校は令和6年1月1日の能登半島地震により大きな被害を受けました。被災前は今後も約20年間使用する計画でしたが、被災した校舎について詳細な調査をおこなったところ、一番被害が大きかった南校舎については校舎を支えている杭が損傷し適正な状態となっていないため、建て替えが必要と判断されました。

南校舎の建替え検討を始めるにあたり、敷地内の地盤調査を行い、地質の状況や地下水位から地表面までの距離などを総合的に検証した結果、現在のグラウンド敷地が建設場所として最も適していることが分かりました。

また、建替え範囲を決めるにあたり、南校舎だけをグラウンド敷地に建て替えた場合に体育館を挟んで校舎が分かれることによる学習環境の弊害や、新しい校舎と既存校舎の建設時期が混在することによる、次期建替え以降の影響などを検討しました。

このようなことと合わせ、坂井輪地域実行計画で検討項目に上がっていた坂井輪中学校と坂井輪地区公民館・図書館とのあり方などの要素を総合的に検討した結果、坂井輪中学校が今回の災害により抱えている問題・課題に抜本的に対応し、震災復興のシンボルとなり、地域の核として将来にわたって活用していくため、今後の公民館建替えを踏まえた、新たな坂井輪中学校として全ての校舎を改築することとしました。

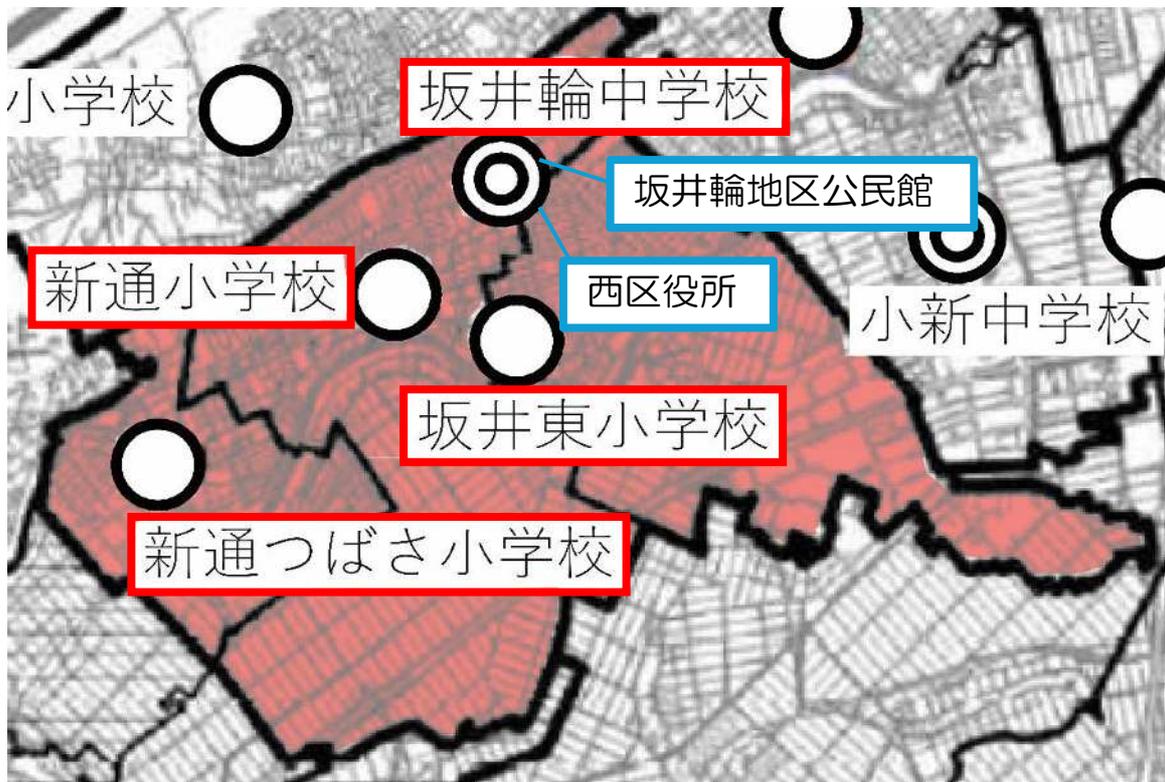
2 施設の概要

(1) 坂井輪中学校

①通学区域(令和6年4月現在) ※町名の一部が通学区域の場合あり

- 新通小学校 : 坂井、坂井3丁目、坂井砂山1～4丁目、
坂井東6丁目、新通、須賀、
寺尾、寺尾上1～6丁目、寺尾台1丁目、寺尾東3丁目
- 新通つばさ小学校: 大野、坂井、新通、新通西1・2丁目、新通南1～3丁目
大学南1丁目、槇尾
- 坂井東小学校 : 亀貝、小新、坂井1～2丁目、坂井東3～5丁目、新田、
新通、須賀、寺尾東1～3丁目、的場流通1・2丁目、
流通センター4～6丁目

通学区域図



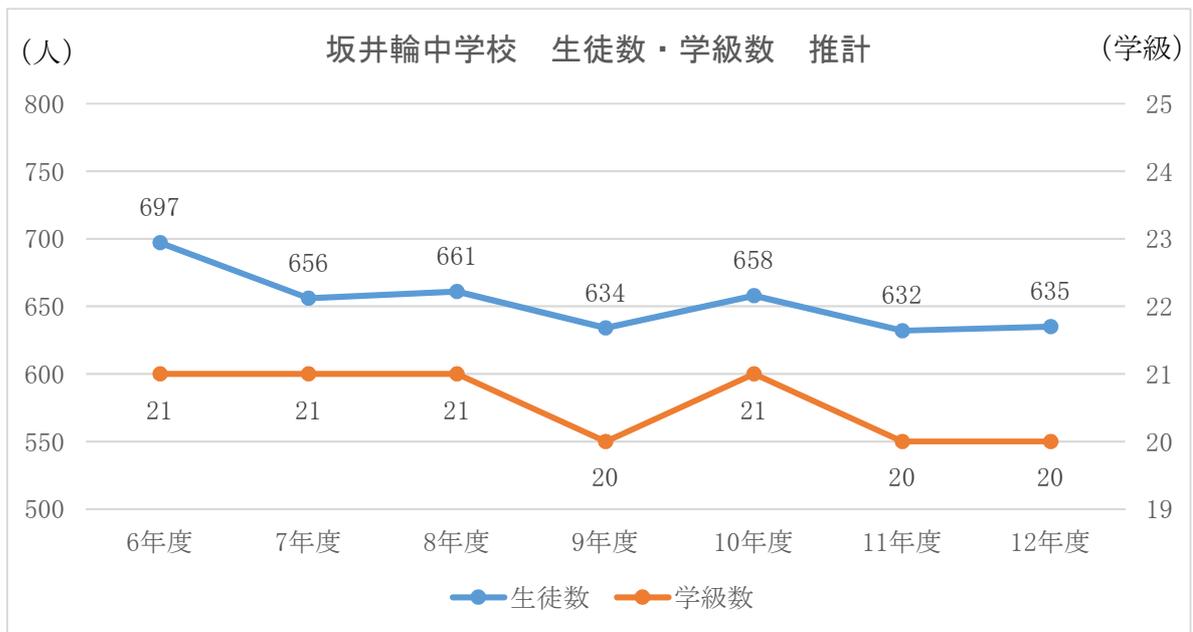
②施設概要(令和6年1月1日現在)

所在地	新潟市西区寺尾上3丁目 地内
敷地面積	21,346㎡
延床面積	8,619㎡
施設構造	校舎：鉄筋コンクリート造4階建 屋内体育館：鉄骨造1階建
施設内容	
校舎	7,030㎡ 普通教室：21室 特別教室：理科室、音楽室、木工室、家庭科室、視聴覚室、 コンピューター室、図書室、美術室、特別支援学級、 集会室、各種準備室、その他 管理諸室：職員室、校長室、保健室、相談室、放送室、事務室、 用務員室、印刷室、教材室、更衣室、その他
屋内体育館	1,589㎡ (内)武道場374㎡ ステージ、便所、用具室、その他附属諸室
グラウンド	9,963㎡ トラック200m
関連施設	来校者駐車場

③児童生徒数の推計

1) 坂井輪中学校

	実数値		推計値→											
令和	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度	
学年	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
1年	248	7	195	6	218	7	221	7	219	7	192	6	224	7
2年	213	7	248	8	195	6	218	7	221	7	219	7	192	6
3年	236	7	213	7	248	8	195	6	218	7	221	7	219	7
計	697	21	656	21	661	21	634	20	658	21	632	20	635	20



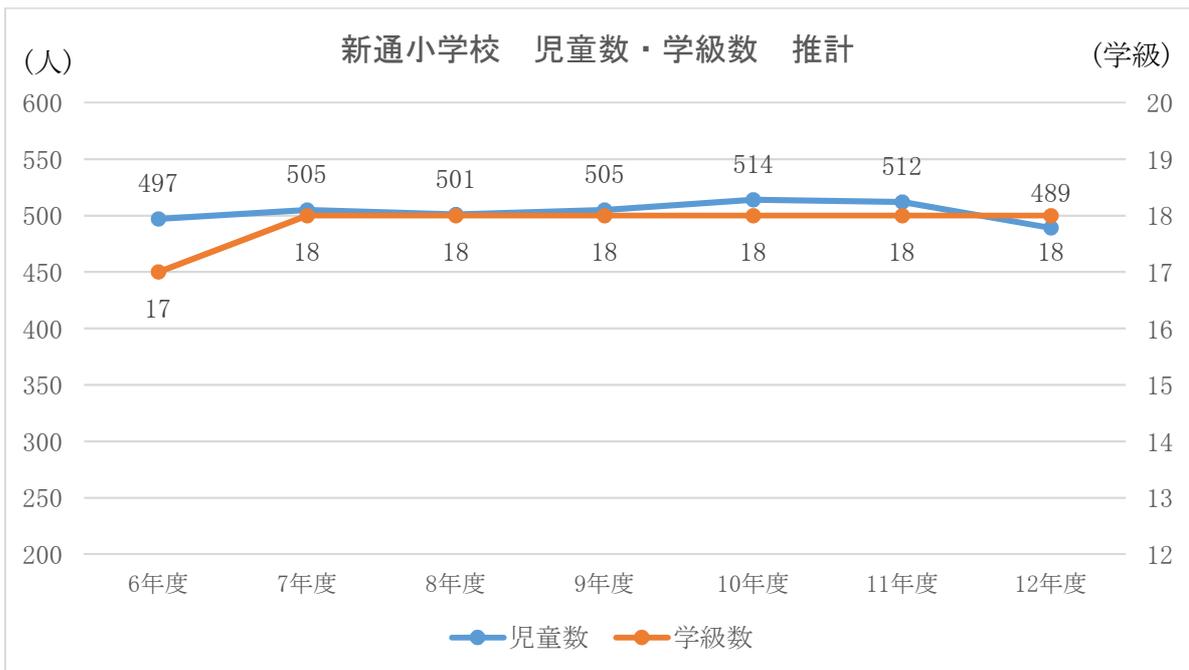
※実数値は特別支援学級、分校を除いています。推計値は住民登録上の未就学児童及び、指定学区域の小学校の児童数によります。

※各年度の推計学級数については、現在の新潟市少人数学級編制事業で設定している基準に基づいて算出しています。

※令和7年度以降の推計値は、過去の学区外就学等の実績により調整しています。

2)新通小学校

	実数値		推計値→											
令和	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度	
学年	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級
1年	94	3	77	3	76	3	88	3	88	3	89	3	71	3
2年	91	3	94	3	77	3	76	3	88	3	88	3	89	3
3年	79	3	91	3	94	3	77	3	76	3	88	3	88	3
4年	84	3	79	3	91	3	94	3	77	3	76	3	88	3
5年	80	3	84	3	79	3	91	3	94	3	77	3	76	3
6年	69	2	80	3	84	3	79	3	91	3	94	3	77	3
計	497	17	505	18	501	18	505	18	514	18	512	18	489	18



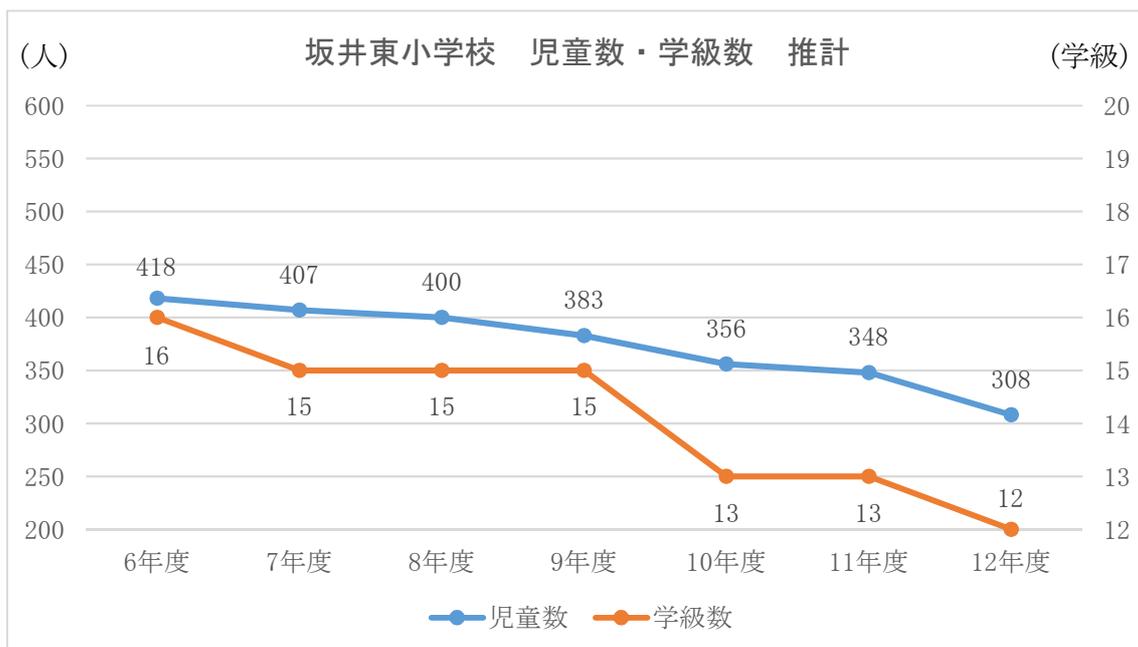
※実数値は特別支援学級、分校を除いています。推計値は住民登録上の未就学児童数及び、指定学区域の小学校の児童数によります。

※各年度の推計学級数については、現在の新潟市少人数学級編制事業で設定している基準に基づいて算出しています。

※令和7年度以降の推計値は、過去の学区外就学等の実績により調整しています。

3) 坂井東小学校

	実数値		推計値→											
令和	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度	
学年	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級
1年	75	3	55	2	65	3	57	2	55	2	41	2	35	2
2年	49	2	75	3	55	2	65	3	57	2	55	2	41	2
3年	82	3	49	2	75	3	55	2	65	2	57	2	55	2
4年	74	3	82	3	49	2	75	3	55	2	65	2	57	2
5年	72	3	74	3	82	3	49	2	75	3	55	2	65	2
6年	66	2	72	2	74	2	82	3	49	2	75	3	55	2
計	418	16	407	15	400	15	383	15	356	13	348	13	308	12



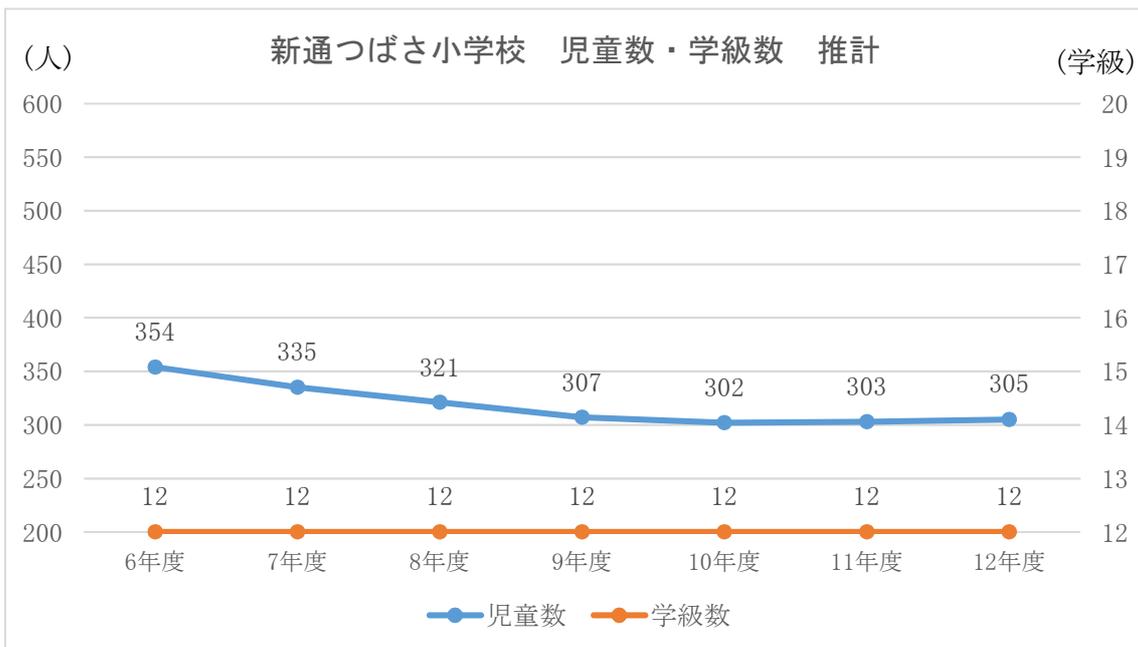
※実数値は特別支援学級、分校を除いています。推計値は住民登録上の未就学児童数及び、指定学区域の小学校の児童数によります。

※各年度の推計学級数については、現在の新潟市少人数学級編制事業で設定している基準に基づいて算出しています。

※令和7年度以降の推計値は、過去の学区外就学等の実績により調整しています。

4)新通つばさ小学校

	実数値		推計値→											
令和	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度	
学年	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級
1年	55	2	41	2	52	2	49	2	53	2	53	2	57	2
2年	52	2	55	2	41	2	52	2	49	2	53	2	53	2
3年	58	2	52	2	55	2	41	2	52	2	49	2	53	2
4年	63	2	58	2	52	2	55	2	41	2	52	2	49	2
5年	66	2	63	2	58	2	52	2	55	2	41	2	52	2
6年	60	2	66	2	63	2	58	2	52	2	55	2	41	2
計	354	12	335	12	321	12	307	12	302	12	303	12	305	12



※実数値は特別支援学級、分校を除いています。推計値は住民登録上の未就学児童数及び、指定学区域の小学校の児童数によります。

※各年度の推計学級数については、現在の新潟市少人数学級編制事業で設定している基準に基づいて算出しています。

※令和7年度以降の推計値は、過去の学区外就学等の実績により調整しています。

[参考] 坂井輪地区公民館

①施設概要

所在地	新潟市西区寺尾上3丁目 地内
敷地面積	2,297㎡
延床面積	3,636㎡
施設構造	鉄筋コンクリート造5階建
施設内容	
公民館	音楽室、保育室、講座室、美術工作室、和室、調理実習室、 ホール、多目的ルーム、事務室
坂井輪図書館	
坂井輪中学校区まちづくりセンター	

関連施設

駐車場	62台
利用時間	月曜日～土曜日 9:00～21:30 日曜日・祝日 9:00～17:30
休館日	毎月第4日曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

(2) 建築に関わる諸条件**①敷地状況**

住居表示 新潟市西区寺尾上3丁目
敷地面積 21,346㎡
土地所有 新潟市
土地形状 東西に長い敷地
南北:最長約125m、最短約88m
東西:最長約250m、最短約93m

②用途地域 地区等都市計画

区域区分 市街化区域
用途地域 第一種住居地域
建蔽率 60%
容積率 200%
防火地域 なし
その他 新潟都市計画区域

建築形態制限

日影規制

測定面 平均地盤面からの高さ4m
規制値 敷地境界線から5mを超え10m以内の範囲 5時間以上
敷地境界線から10mを超える範囲 3時間以上

北側斜線 なし

道路斜線 1:1.25

隣地斜線 20m+1:1.25

その他 建築基準法22条規制

③隣地状況

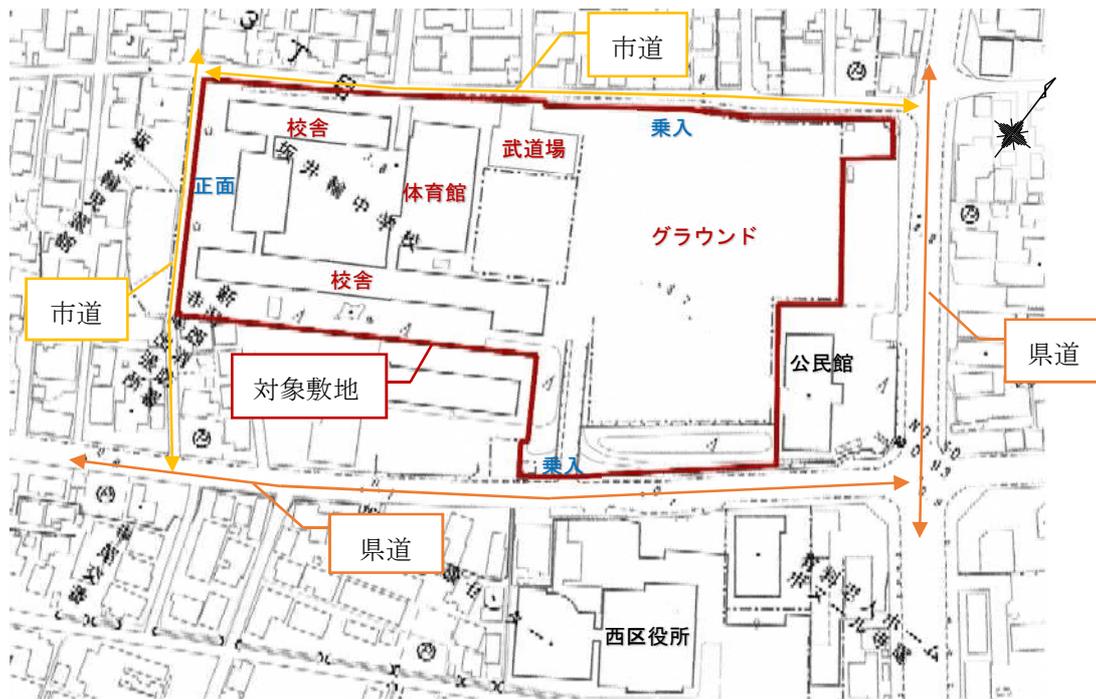
北側:住宅街
東側:地区公民館
南側:西区役所、アパート、民家
西側:児童館、民家

④接道状況、道路各種

- 北側:市道 寺尾坂井線2084号 幅員4.3m~6.4m
- 東側:県道 新潟燕線1044号 幅員18.9m~19.7m
- 南側:県道 新潟亀田内野線1016号 幅員10.5m
- 西側:市道 西3-11号線 幅員4m

⑤都市設備

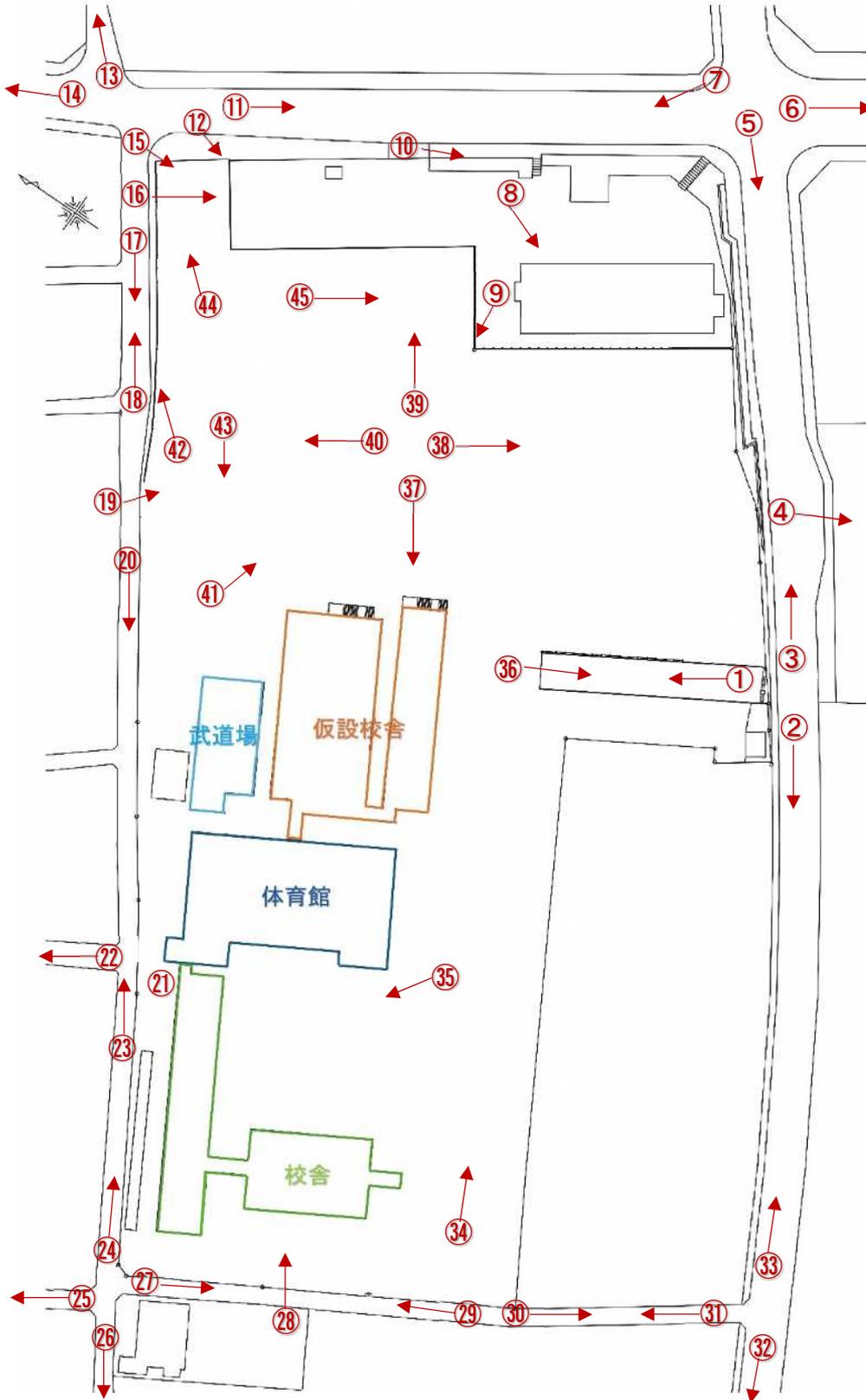
- 排水:公共下水道供用区域
- ガス:都市ガス
- 電力:東北電力



学校敷地と周辺状況

(3) 敷地の写真

※数字は次ページ以降の写真の撮影箇所を表す



①敷地南側 乗入



②南側道路-1 (幅 10.5m)



③南側道路-2 (幅 10.5m)



④西区役所



⑤公民館前十字路-1



⑥公民館前十字路-2



⑦公民館前十字路-3



⑧地区公民館-1



⑨公民館からのグラウンド



⑩公民館前



⑪東側道路-1 (幅 18.9m~19.7m)



⑫



⑬北側十字路-1



⑭北側十字路-2



⑮グラウンド北側-1



⑯グラウンド北側-2



⑰北側十字路-3



⑱北側道路-4(幅 4.3m~6.4m)



⑲北側 乗入



⑳北側道路-3(幅 4.3m~6.4m)



㉑防災看板



㉒北側 T 字路



㉓北側道路-4(幅 4.3m~6.4m)



㉔西側十字路-1



②⑤ 西側十字路-2



②⑥ 西側十字路-3



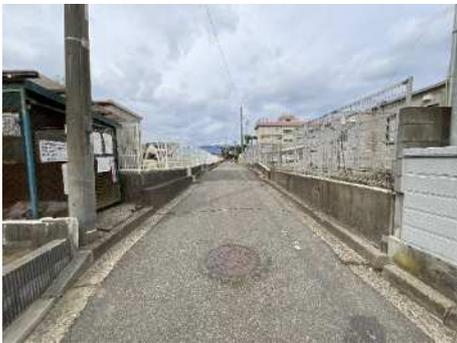
②⑦ 西側十字路-4



②⑧ 校門(正面)



②⑨ 西側道路-1(幅 4m)



③⑩ 西側道路-2(幅員 4m)



③⑪ 南側T字路-1



③⑫ 南側T字路-2



③南側T字路-3



④敷地南西側



⑤



⑥敷地南側 乗入-2



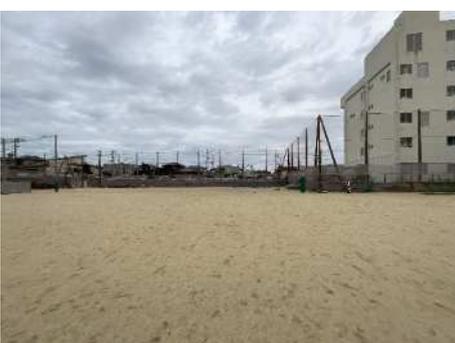
⑦グラウンド-1



⑧グラウンド-2



⑨グラウンド-3



⑩グラウンド-4



④①グラウンド-5



④②グラウンド-6



④③グラウンド-7



④④グラウンド-8



④⑤グラウンドからの公民館



3 基本構想検討会

(1) 検討会の経緯

開催回	日程	主な検討項目
第1回	令和6年10月2日	<p>基本構想策定の進め方</p> <p>事務局から本検討会議の役割及び今後の学校建設における理念や目標を定めるため、「学校」「地域」「防災」の観点から、意見をいただきたい旨を説明しました。</p> <p>これまでの経緯</p> <p>地震による被災から現地で全面建て替えに至った経緯を説明しました。</p>
第2回	令和6年10月18日	<p>「学校」「地域」「防災」に関する意見聴取</p> <p>委員のみなさまから、第1回検討会で説明した内容をもとに、上記のテーマについて多くの意見をいただき、それについて協議しました。</p>
—	令和6年11月11日	<p>こどもをとりまく井戸端会議における学校生徒の意見聴取</p> <p>まちづくり協議会主催の会議で、現坂井輪中学校在席の1、2年生を中心に「学校」「地域」「防災」の観点から意見をいただきました。会議はワークショップ形式で行われ、生徒、先生、PTA、地域の方が7グループに分かれ意見交換を行いました。</p>
第3回	令和6年11月22日	<p>これまでの意見の集約</p> <p>いただいた意見を集約し、基本構想(案)の基本理念、基本コンセプト、基本方針(案)について意見をうかがいました。</p> <p>新校舎の施設イメージについて</p> <p>現状の敷地条件をもとに、建設可能範囲・施設イメージを複数提示し、メリット、デメリットなどについて説明し、意見をうかがいました。</p>
第4回	令和6年12月23日	<p>基本構想(案)の意見徴収</p> <p>第3回でいただいた意見をもとに修正した基本構想(案)を提示し、それについて意見をうかがいました。</p>
第5回	令和7年2月7日	<p>基本構想の最終案の提示</p> <p>第4回でいただいた意見をもとに修正した基本構想の最終案を提示し、確認していただきました。</p>

(2) 主な意見

【 学 校 】

＜多様な学習環境を備えた学校＞

- ・様々な学びの場としての多目的ホールや講座室の整備
- ・多様な活動が実現できる普通教室の大きさ
- ・複数クラスの集会や保護者会などが開催できるスペースの確保
- ・多様な授業に対応できる教育設備の充実
- ・教室と廊下の間に壁がない、廊下拡張型教室の整備
- ・どこからでもアクセスしやすい学校図書館の配置

＜快適で環境に配慮した学校＞

- ・洋式トイレや太陽光発電など、将来にわたり快適な環境整備と省エネ化への配慮
- ・エレベーターの設置など、バリアフリーに配慮
- ・西日に配慮した普通教室の配置
- ・体育館も含めたエアコン設置による学習環境への配慮
- ・グラウンドの芝生化など、地球温暖化への配慮

＜地域・他世代との交流＞

- ・生徒が自由に交流、滞留できるフリースペースの整備
- ・地域の人が使えらる特別教室の整備
- ・様々な人が利用する出入り口の安全の確保
- ・地域、保護者が使える駐車場の整備
- ・学校、公民館、児童館、区役所が連携した駐車場の有効活用

【 地 域 】

＜地域と連携した新たな学び＞

- ・他学年に加え、小学生や地域との交流による新たな学びの創出
- ・地域活動ステーションの役割を持った学校
- ・地域の担い手づくり、後継者を育てる学校
- ・校内で大人の学びを身近に感じる、循環型生涯学習の実現
- ・講座を通じた児童、生徒、地域の交流と、地域への愛着、関わり方の再構

＜地域と連携した環境整備＞

- ・こども食堂ができるような、地域と共にある環境整備
- ・地域活動の拠点となる地域の部屋の整備
- ・周辺道路の拡幅など、安全な周辺環境の整備
- ・学校敷地に地域の人もつどい、様々な交流が生まれる環境

- ・特別教室を共有し、学校内で生徒と地域が触れ合う環境
- ・学校と公民館の物理的なつながりによる、交流環境の向上

【 防 災 】

＜安心・安全の土台＞

- ・避難所運営に最適な、避難所に近接した備蓄品保管場所の設置
- ・避難所利用を想定した、多目的ホールや講座室の整備
- ・体育館のエアコンや屋外照明など、防災拠点に必要な施設整備

＜避難時に配慮した施設＞

- ・敷地内への出入り口を複数にすることで、速やかな避難を実現
- ・多くの人々が認識できる備蓄品保管場所の整備
- ・避難時の避難所と学校活動の共生に向けた施設整備

【 こどもをとりまく井戸端会議の意見 】

【 学 校 】

- ・冬は暖かく、夏は涼しい校舎
- ・体育館を含む学校全体に冷暖房を完備し、快適な学習環境を提供
- ・支援が必要な生徒も通いやすい学校
- ・ジェンダーレストイレの整備や清潔で数の多いトイレ
- ・最新トイレ設備(手指乾燥機、センサー式蛇口、ペーパータオル)の導入
- ・生徒が利用するロッカーを大きくし、収納を充実
- ・雨天時でもスポーツができる屋根付き運動場や芝生グラウンド
- ・大きな教室の机
- ・放課後や土日も利用可能な、充実した自習室
- ・年間を通して利用できる、屋上プールや温水シャワーを設置
- ・友だちと過ごせる共用スペースやフリースペース
- ・好きな席で友達と話ながらゆっくり食事ができるスペース
- ・生徒が学年に関係なく交流でき、学びを深められる多目的スペースを設置
- ・休み時間や授業の合間にリラックスできる庭や緑豊かなスペース
- ・自然光を取り入れ、環境に優しい校舎
- ・多くの木々が見える、静かで落ち着いた図書館を整備

【 地 域 】

- ・花壇や畑を作り、生徒と地域の人が共同で農作物を栽培
- ・学校の施設を放課後や土日に地域住民に開放し、自由に過ごせるスペースを提供
- ・地域の人も利用できるカフェを設置し、日常的な交流を促進
- ・地域の人が気軽に立ち寄り、生徒と交流できる場所を設置
- ・地域の人も学校の設備を使いやすいように設計
- ・地域の人も利用しやすい駐車場と駐輪場
- ・様々な人が集まり、交流できる部屋やスペースを設置
- ・生徒や地域の人が利用できるオープンスペースの提供

【 防 災 】

- ・非常時に備えた自家発電設備、太陽光パネル、体育館へエアコンを設置
- ・トイレなどに使用できる雨水回収システムの導入
- ・災害時に対応した衛生設備
- ・避難や物資の保管に使える地下室を設置
- ・安心して学べる防犯対策の整った校舎
- ・安全対策として、校舎周りに防犯カメラを設置

4 施設構想

(1) 基本理念

本施設は、将来にわたって望ましい教育環境の提供を実現するとともに、地域と連携した教育・生涯学習の推進を担う、地域の新たな活動の一助となる施設を目指し、防災機能の充実を図ることで安心・安全な施設を整備する。

また、坂井輪地区公民館や坂井輪図書館との連携を見据えた施設として整備する。

(2) 基本コンセプト

主体的に学び 地域と共に 未来を創る

坂井輪中の再興

～自律・協働・創造を育む～

《基本コンセプトの主旨》

生徒が自分の夢や将来に向かって自分で考え進んでいく、自律的主体性を持つよう、充実した教育環境を整備する。そして坂井輪中学校が自分のクラス・同学年・他学年・小学校・地域の人々などと協働する担い手育成の場になり、それぞれの立場で自分・家族・ふるさとの未来を考え、創造することで、「地域とともにある学校」として再興するための施設整備を行う。

(3) 基本方針

<学校>

少子高齢化、グローバル化やデジタル化の更なる進展など社会情勢が目まぐるしく変化する中、これからの多様な教育的ニーズに柔軟に対応できる施設整備や生徒が安心安全に学べる環境づくり、様々な学習機会の提供、部活動の地域移行など様々な状況を踏まえた施設整備を行います。

■柔軟に対応できる学校

生徒の学習環境を最優先に考えながら、将来の生徒数や学習形態の変化、学校開放や地域クラブ活動、災害時の学校活動と避難所の両立などにも柔軟に対応できるような諸室のレイアウトや敷地内の配置を計画します。

また、質の高い教育環境のもと、誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育となるような施設整備を行います。

■安心・安全な学校

生徒と学校利用者の日常使用動線に配慮し、生徒の安全を確保することで、全ての生徒が安心して学ぶことができる学校づくりや環境づくりを計画します。

また、教育の場だけでなく様々な地域活動の場として、多様な人々が安心・安全に利用できるバリアフリーな施設整備を行います。

※バリアフリー:すべての人にとって日常生活の中で存在するあらゆる障壁を取り除くこと

■だれでも利用しやすい学校

学校と地域の交流や、放課後や休日の学校開放、災害発生時の避難所開設などを念頭に、だれでも使いやすいユニバーサルデザインによる施設整備を行います。

また、障がいのある人も、ない人も共に学び、インクルーシブで、多様性を尊重した施設整備を目指します。

※ユニバーサルデザイン:年齢、性別、文化の違い、障がいの有無によらず、誰にとっても分かりやすく、使いやすい設計

※インクルーシブ:個々が持つ多様な要素や属性の違いを認め、共生していくこと

■環境に配慮した学校

地域や周辺環境との調和を図りつつ、地域から親しまれ、愛される学校となるよう計画します。

また、建物の断熱性の向上や高効率機器の採用など、環境にやさしく快適で衛生的な学校となるよう計画します。

<地域>

多世代が交流や学習活動を活発に行い、地域への愛着を育むことができるような学校を目指します。また、だれもが使いやすい施設となるよう、施設全体をバリアフリー化し、ユニバーサルデザインによる施設整備を行います。

■多世代が交流できる施設づくり

あらゆる世代の主体的な学習活動の推進を図るとともに、地域への愛着形成を促進するため、多世代が交流できる空間を整備します。

■利用者に配慮した施設整備

学習活動や交流がしやすくなるよう、施設全体をバリアフリー化するとともに、だれもが使いやすいユニバーサルデザインによる施設整備を行います。

<防災>

令和6年1月1日の能登半島地震の被害により、地域住民の防災意識はより高まっており、安心と安全を守る施設整備が求められているため、防災機能の充実を図り、災害時に力を発揮することができる施設整備を行います。

■災害に備えた施設整備

災害時の避難動線を考慮し、外部から体育館への速やかな避難を可能とする校地内への出入口の整備や体育館配置を計画します。

また、防災備蓄のスペースは、建物内外を問わず、避難所となる体育館からの搬出入が容易となるような配置とします。

■周辺道路等への配慮

学校に接する道路等について、災害時の避難を容易にすると共に、生徒の通学路、近隣住民の生活動線の安全性向上となるよう計画します。

■避難時の配慮

避難所開設時に、学校活動と避難生活を両立できるような諸室の配置を検討し、避難の状況に応じてフレキシブルに対応できるよう計画します。

■防災学習への取り組み

学校には日常からマンホールトイレなどの防災機能や地域の防災への取り組みを掲示するなど、防災について学ぶ場として利用できるよう計画します。

※施設整備の規模、内容、仕様などについては国の補助制度を踏まえて検討していきます。

5 基本構想検討会委員名簿

所属(役職等)	氏名
坂井輪中学校区 まちづくり協議会会長	梶原 宜教
さかい輪地区連合 自主防災会	吉田 明美
坂井輪中学校区 青少年育成協議会会長	郷 扶二子
坂井輪中学校区 スポーツ振興会会長	五十嵐 正徳
地域自治会代表 寺尾新町第2自治会長	臼田 賀一
坂井輪中学校 地域教育コーディネーター	川村 久美子
坂井輪中学校 学校運営協議会会長	小島 成生
坂井輪中学校 PTA会長	土田 貴子
坂井輪中学校長	平山 智康
新通つばさ小学校長	小林 由希恵
生涯学習センター所長	辻村 理恵
中央図書館長	新井 直美
西区役所副区長	内藤 晃子
教育委員会施設課長	石川 淑朗

【作成担当】

新潟市教育委員会施設課

〒951-8554

新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ルフル4階

TEL : 025-228-1000 (代)

FAX : 025-226-0048

E-mail:shisetu@city.niigata.lg.jp